

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

広島アルミニウム工業株式会社 新郷工場

(2) 事業所の所在地

広島県山県郡北広島町新郷1-4

(3) 業種

アルミニウム・同合金ダイカスト製造業
細分類番号:2353

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実績排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実績排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実績排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **内製高(百万円)**

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和7年度 (2025)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
エネルギー 起源CO ₂	3.53	2.39 32.29	4.55 -28.90	4.52 -28.05	3.47 1.70	100.00	100.00
非エネルギー 起源CO ₂		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
メタン		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
一酸化二窒素		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他 温室効果ガス		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
温室効果ガス 排出量総計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	1.36	0.92 32.29	2.11 -54.85	2.09 -53.31	1.56 -14.71	100.00	100.00
実績に対する自己 評価	エアー漏れ対策、エアーコン・ポンプ稼働台数見直し等により、電気の使用量が昨年と比べて、削減出来た結果、原単位が減りました						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	重油使用量削減	重油使用量を令和12年までに平成25年比原単位46%削減	・ 燃焼効率UP装置の追加設置 ・ 不良率削減 ・ 生産性向上
2	LPG使用量削減	LPG使用量を令和12年までに平成25年比原単位46%削減	・ 生産効率向上によるLPGの使用量削減 ・ 保持炉の断熱材塗装による保温状態改良
3	電気使用量削減	電気使用量を令和12年までに平成25年比原単位46%削減	・ エアブロー時間短縮・見直しによる圧縮エアの使用量削減⇒コンプレッサー電気使用量削減 ・ マシンの暖機時間の見直しによる電気使用量削減 ・ ポンプの仕様・稼働台数の見直しによるモーター電気使用量削減
4			・ LED化による照明電気量の削減 ・ オイルコンの廃熱対策による、建物内のエアコン稼働時間削減⇒エアコン電気使用量削減

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	廃液量の削減	廃液を令和12年末までに令和元年比18%削減	・ クーラント漏れ対策 ・ 遠心分離器によるクーラント寿命延長 ・ 廃液浄化方法の検討
2	紙購入量の削減	紙を令和12年末までに令和元年比19%削減	・ 電子化による紙使用量削減 ・ 裏紙使用の促進
3	切削油使用量の削減	令和12年末までに令和元年比11%削減	・ クーラント漏れ対策 ・ クーラント濃度を10%⇒5%に見直し ・ 加工不良低減による1個当たりの切削油低減

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。